



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 村松 澄夫
(コード番号：2467 名証セントレックス)
問合せ先：経理財務部長 笠原 誠
電話番号：03-5649-2500 (代表)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループにおいて、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました業績予想を下記の通り修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

(1) 関係会社株式評価損の発生 (個別)

(A) 平成 22 年 3 月期末の関係会社株式評価損		20 百万円
(B) 平成 21 年 3 月期の純資産の額	(A/B × 100)	379 百万円 (5.3%)
(C) 平成 21 年 3 月期の経常利益額	(A/C × 100)	△195 百万円 (—)
(D) 平成 21 年 3 月期の当期純利益額	(A/D × 100)	△451 百万円 (—)

当社が保有する株式のうち、連結子会社である株式会社アトラス・コンサルティングの株式への投資額について、実質価額が当社帳簿価額と比較して著しく乖離する状況になっており、事業環境から損益状況および今後の見通し等を勘案し、短期的な純資産価値の回復が困難との判断に至り、平成 22 年 3 月期の個別決算において関係会社株式評価損 20 百万円を特別損失に計上いたします。

(2) 貸倒引当金繰入額の発生

連結子会社である株式会社バルクおよび株式会社アトラス・コンサルティングに対する貸付金等のうち、回収可能性が不明なものにつき個別決算において 215 百万円を特別損失に計上いたします。

※関係会社株式評価損および貸倒引当金繰入額は、個別決算固有の処理であり、連結業績に与える影響はありません。

(3) 減損損失の発生

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の連結子会社が保有する有形固定資産およびソフトウェアについて減損処理を行い、12 百万円の減損損失を特別損失に計上いたします。

2. 連結業績予想の修正

(単位：百万円、%)

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,114	百万円 △88	百万円 △83	百万円 △90	円 銭 △2,605.37
今回修正予想 (B)	870	△119	△122	△140	△4,042.54
増減額 (B - A)	△243	△30	△38	△50	—
増減率	△21.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	1,083	△208	△195	△451	△12,978.59

修正の理由

データベース構築支援および図書館支援事業は好調に推移したものの、景気動向と密接な関係にあるコンサルティング事業およびインターネットリサーチ事業において売上単価の低価格化や投資抑制の傾向がより一層顕著なものとなりました。

以上の結果、売上高は計画を243百万円下回る870百万円となる見込みです。

営業利益は、固定費の削減に取り組んだものの、上記売上高の減少による影響により、計画を30百万円下回る119百万円の損失となる見込みです。

経常利益につきましては、営業損失の影響により、計画を38百万円下回る122百万円の損失となる見込みです。

当期純利益につきましては、上記1.(3)に記載しました特別損失の影響により、計画を50百万円下回る140百万円の損失となる見込みです。

これらにより、平成 21 年 5 月 15 日に公表した通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(備考) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上